

★記入例★

様式第1号「宮古島市農業委員会の農業委員候補者募集要項」第7(1)ア

① - 1

宮古島市農業委員会の【農業委員・中立委員】候補者推薦書(個人用)

宮古島市長 様

申込日 ○○年○○月○○日

どちらへの応募が分かるように○で
囲ってください。

宮古島市農業委員会の農業委員候補者として、次の者を推薦します。

推薦者(宮古島市に住所を有し世帯の異なる農業者3人)

氏名	性別	生年月日(満年齢)	住所(住民票登録地)	職業(職種)
(代表者) ミヤコジマ タロウ 宮古島 太郎 印	男	昭和 ○○年○○月○○日 (○○才) 平成	宮古島市平良字西里○○○番地	農業
【代表者の連絡先】 ■ 自宅固定電話 : 7X-XXXX		■ 携帯電話(必須) : 0X0-XXXX-XXXX		
(2人目) ミヤコジマ ジロウ 宮古島 次郎 印	男	昭和 ○○年○○月○○日 (○○才) 平成	住所 宮古島市城辺字福里○○○番地	職業(職種) 農業
(3人目) ミヤコジマ ハナコ 宮古島 花子 印	女	昭和 ○○年○○月○○日 (○○才) 平成	住所 宮古島市上野字上野○○○番地	職業(職種) 農業
【推薦の理由】				
認定農業者として、農地の利用集積・集約化を自ら実践し、規模拡大を図っている。また、地域農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等、農業委員としての業務に貢献できると考える。				
注：農業委員・農地利用最適化推進委員のどちらにも推薦・応募ができますが、兼務はできません				
農地利用最適化推進委員への推薦状況(どちらかに○) ⇒ 推薦している・推薦していない				

被推薦者(農業委員・中立委員の候補者として推薦する者)

氏名	性別	生年月日(満年齢)	住所(住民票登録地)	職業(職種)
ミヤコジマ イチロウ 宮古島 一郎 印	男	昭和 ○○年○○月○○日 (○○才) 平成	宮古島市下地字来間○○○番地	農業
本籍		同上		
同上				
【被推薦者の連絡先】 ■ 自宅固定電話 : 7X-XXXX		■ 携帯電話(必須) : 0X0-XXXX-XXXX		
【被推薦者の経歴(職名・役職名など含む)】				
昭和XX年X月X日 ~ 平成XX年XX月XX日 株式会社○○建設入社、作業員・営業職など				
平成XX年X月X日 ~ 退職し、就農開始				
平成XX年X月X日 ~ 平成XX年XX月XX日 JAOO部会部会長				
令和XX年X月X日 ~ 沖縄県野菜品評会にて金賞受賞				
令和XX年X月X日 ~ 沖縄県指導農業士に認定				
令和XX年X月X日 ~ 令和XX年X月X日 ○○自治会役員				
地域の役員や、ボランティア活動の経験などあれば、それらも記入してください。				

宮古島市農業委員会の【農業委員・中立委員】候補者推薦書(個人用)

被推薦者氏名 : 宮古島 一郎

【被推薦者の農業経営の状況】

◎ 耕作農地面積 (単位は選択) : 240 m²・a (アール) ※ 該当する単位を○で囲んでください。

◎ 経営作目 : とうがん、さとうきび

◎ 年間農業従事日数 : 250 日

◎ 被推薦者の農業経営及び中立委員の経営状況についての説明 (下段に記載)

営農〇〇年目。現在は25ミリパイプハウス6棟(15a)でのとうがん栽培と、さとうきび夏植え120a、株出し100aで営農している。主品目であるとうがんの平均反収は現在18トンで、20トンを目標に工夫を重ねている。

認定農業者の方は、認定証の写しを添付してください。法人で認定されている方についても、同様に法人の認定証を添付してください。

【被推薦者の認定農業者等の状況】

(①～⑤の該当する番号、項目に○印、年月日、回数等を記入してください)

① 認定農業者(個人) 認定期間: 平成・令和〇〇年〇月〇日 ~ 平成・令和〇〇年〇月〇日

② 認定農業者である法人の業務執行役員又は重要な使用人(農場長など)

認定期間: 平成・令和 年 月 日 ~ 平成・令和 年 月 日

③ 認定農業者の更新回数 ○回

④ 認定農業者に準ずる者(ア～カに該当するもの全てに○印を記入してください)

ア. 認定農業者の経営に参画する親族

イ. 認定就農者(法人で登録の場合は役員等)

ウ. 集落営農の役員(集落・組織名: 役職:)

エ. 人・農地プランの中心的経営体(法人で登録の場合は役員等)

オ. 指導農業士

カ. 農業経営基盤強化促進法第6条第1項に規定する基本構想水準到達者

⑤ 上記①～④に該当しない

【被推薦者の抱負など(自己PR、委員として取り組みたい事項等)】

長年農業経営を続けてきたなかで、地域の農業者が高齢化して農業経営が困難になり、農地が遊休化しつつある現状を目の当たりにしてきた。農業は宮古島の重要な基幹産業なので、高齢化により衰退しないよう、豊かな農地が意欲ある担い手に集約されていくよう取り組んでいきたい。

中立委員としての推薦・応募の場合以外は、「農業従事証明」の添付が必要になります。

農業委員会事務局が発行する「農業従事証明書」の添付の有無 ⇒ 添付している ・ 添付していない (中立委員のみ可)